

環境調査結果のお知らせ

平成31年1月7日午前9時半から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温13~15°C、塩分33~34、溶存酸素量7~8mg/lでした。
透明度は5~9mで、有害種のカレニア・ミキモイが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

湾内の環境は、水温12.7~15.3°C、塩分33.0~33.7でした。
前回調査時(H30.12.17)と比較して、水温は全層で2.3~2.6°C低下しました。塩分は全層で0.2~0.4上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量7.4~8.4mg/lでした。
前回調査時(H30.12.17)と比較して、全層で0.4~0.7mg/l減少しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は5.2~8.5mでした。
検鏡の結果、有害種のカレニア・ミキモイが最高で2cells/ml確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ: 数百~数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属: 10~100cells/ml(魚類へい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 10,000~50,000cells/ml(魚類のへい死)
- ・ケラチウム属: 100cells/ml~(餌食いの悪化)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(12/17)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	12.7	13.1	13.5	13.5	15.3	13.4	15.7	▲ 2.3
2m	12.7	13.2	13.4	13.5	14.9	13.4	15.7	▲ 2.3
5m	12.7	13.2	13.5	13.5	14.9	13.4	15.7	▲ 2.3
10m	12.7	13.2	13.6	13.5	—	13.5	15.8	▲ 2.3
B-1m	12.7	13.3	13.6	13.6	14.4	13.5	16.1	▲ 2.6

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(12/17)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	33.0	33.1	33.2	33.3	33.7	33.2	32.8	0.4
2m	33.0	33.2	33.3	33.3	33.7	33.2	32.8	0.4
5m	33.1	33.2	33.3	33.3	33.7	33.3	32.9	0.4
10m	33.1	33.2	33.3	33.3	—	33.3	32.9	0.4
B-1m	33.1	33.2	33.3	33.3	33.6	33.3	33.1	0.2

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(12/17)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	8.4	8.0	7.7	7.7	7.9	7.8	8.4	▲ 0.6
2m	8.2	7.8	7.7	7.6	7.8	7.7	8.4	▲ 0.7
5m	8.0	7.6	7.6	7.5	7.7	7.6	8.2	▲ 0.6
10m	7.8	7.5	7.5	7.4	—	7.5	8.0	▲ 0.5
B-1m	7.7	7.5	7.4	7.4	7.7	7.4	7.8	▲ 0.4

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	13.0	15.4	17.8	17.4	9.6
透明度	5.2	7.4	7.5	7.2	8.5
前回(12/17)	3.9	4.3	3.6	3.8	4.0

表5 プランクトン(cells/ml)

		カレニア・ ミキモトイ	シャットネラ属	ケラチウム属	珪藻類
中学校前	0m	2	0	0	120
	2m	0	0	0	50
	5m	0	0	0	150
目ノクソ	0m	0	0	0	80
	2m	0	0	0	50
	5m	0	0	0	5
光松	0m	1	0	0	45
	2m	0	0	0	25
	5m	0	0	0	20
大鹿	0m	0	0	0	50
	2m	0	0	0	100
	5m	0	0	0	15
水試小割前	0m	0	0	0	15
	2m	0	0	0	20
	5m	0	0	0	0
井尻	0m	0	0	0	10
	2m	0	0	0	0
	4m	0	0	0	0
鳴無	2m	0	0	0	180